



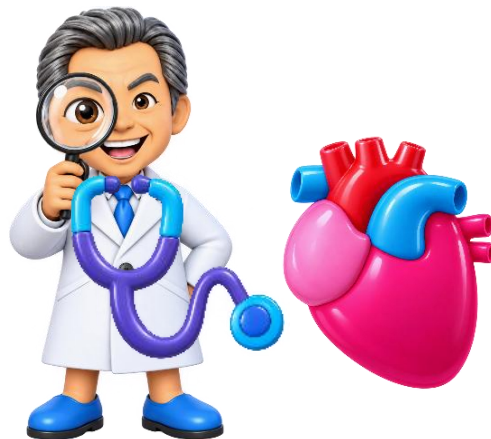
(株)スタンダード運輸・(株)茨運・スズエ電機(株)

- ☆ 人間ドックと健康診断
- ☆ 基本検査 (肺と心臓)
- ☆ 基本検査 (食堂・胃と大腸)
- ☆ 血管の検査

～定期的な検査で自分の健康を知ることが仕事の力になる～



"今日から出来る小さな一歩が、未来の健康につながります"



人間ドックと健康診断

主な健康診断

一般健診(定期健診) 1年に1回

身体測定 血圧 尿検査 便検査 視力 聴力 心電図 胸部X線

特定健康診断(メタボ健診) 40～74歳が対象
メタボリックシンドロームを中心とした健診

対策型がん検診

胃がん 大腸がん 肺がん 乳がん 子宮頸がん

年1回の健康チェックで未来の安心を!

一般健診に含まれないもの

人間ドック

基本検査項目

身体計測 血圧 心電図・心拍数 腎臓・尿蛋白 肝機能 眼底・眼圧 呼吸機能 骨密度検査 上部消化管X線(バリウム) 腹部エコー 血液検査 尿検査 腫瘍マーカー検査

健康診断は、体の異常を早期に発見するための機会として、自治体や職場などで実施することが法律で義務づけられています。1年に1回職場で実施される一般健診のほか、40～74歳の人を対象に生活習慣病の予防・早期発見を目的に行われる特定健康診断、5大がんと呼ばれる胃がん・大腸がん・肺がん・乳がん・子宮頸がんの早期発見を目的とした対策型がん検診などがあります。

人間ドックは、個人の意思で受ける、より詳しい健康診断です。医療機関によって異なる部分もありますが、一般健診や特定健康診断の内容をカバーし、さらにがん検診も含めて行われます。企業や自治体が費用を負担する健診と異なり基本的に自費となりますが、企業によっては補助を行うところもあります。

早期発見 早期治療 健康維持 安心の未来

自分の健康は自分で守りましょう!

基本検査(食道・胃と大腸)

内視鏡検査が勧められる人

● 50歳以上

● ピロリ菌に感染している または 過去に感染していた

食道・胃の基本検査には上部消化管エックス線検査(バリウム)、オプション検査には内視鏡検査、胃がんの原因になるピロリ菌の有無を調べるピロリ菌検査、がんの手がかりを知るための腫瘍マーカー検査などがあります。

バリウム検査 内視鏡検査 ピロリ菌検査 腫瘍マーカー検査

大腸内視鏡が勧められる人

● 便潜血検査が陽性

● 便が細くなった ● 50歳以降

● 家族に大腸がんになった人がいる

大腸の基本検査には便潜血検査、オプション検査には大腸内視鏡検査と腫瘍マーカー検査があります。

大腸内視鏡検査

基本検査(肺と心臓)

肺のオプションが勧められる人

● 50歳以上 とくに喫煙者

● 最近せきやたんがよく出る

● 家族に肺がんになった人がいる

肺の基本検査には呼吸機能検査、胸部エックス線検査、オプション検査には数十もの断面を撮影する胸部CT検査、たんを顕微鏡で観察して病的な成分が含まれていないか調べる喀痰(かくたん)細胞診検査などがあります。

運動負荷心電図が勧められる人

● 40歳以上の男性/50歳以上の女性で とくに 糖尿病・高血圧・脂質異常症・喫煙者

● これから積極的に運動を行おうと考えている

心臓の基本検査には血圧測定、心拍数計測、心電図検査、胸部エックス線検査、オプション検査には運動負荷心電図検査などがあります。

血管の検査

頸動脈エコー(超音波)検査

血管の検査には、主に頸(けい)動脈超音波(エコー)検査と血管年齢検査があります。頸動脈超音波検査は首筋に超音波を当てて頸動脈を画像化し、動脈硬化の有無やその程度を調べる検査です。結果から、全身の動脈硬化の進行を推定することができます。血管年齢検査は両腕、両脚の血圧と脈波を同時に測ることで血管の硬さを判定し、各年齢の平均値と比較して「推定血管年齢」を算出します。

こんなことがわかります

- 動脈硬化の有無: 頸動脈の状態を画像で確認します。早期発見が大切です。
- 血管の硬さ: 血管年齢検査で血管の弾力性を測定します。
- 血管年齢の目安: 若い血管と老化した血管を比較して血管年齢を判定します。
- 生活習慣の見直し: 食事・運動・禁煙・ストレス管理。早期に発見し、生活習慣の改善につなげます。

定期的な検査で、血管を守りましょう!

人生100年時代 "健康第一"